

## 1 教育目標

人間尊重の精神に基づき、校訓「人間としてかがやく」を目指し、知性と感性に富み、健やかでたくましく生きる生徒を育成する。

## 2 学校の教育目標を達成するための基本方針

「社会を構成する一員」としての自覚をもたせるため、学級・学年・学校等の各組織の中で生徒主体の積極的な自治活動を通して社会的自立を促し、教科等の中で本校がこれまで培ってきた対話的な学び・生徒同士の学びあいの授業を展開するなど、質の高い教育を提供することにより、社会人としてふさわしい資質・能力の基盤を育成する。

### (1) 学校生活（授業や行事、その他の活動）を通してはぐくむ力。

- ① 多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
- ② 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、自己の可能性を肯定的に受け止め、主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律して進んで学ぼうとする力
- ③ 仕事をする上での様々な課題を発見・分析し、必要・有益・正確な情報を見極め、適切な解決手段を考え、行動変容することができる力
- ④ 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて、多様な生き方に関する価値を理解し、自ら主体的に判断して人格を形成していく力

### (2) タブレットPC等のICT機器を授業改善の柱の一つに据え、21世紀型能力で求められるICT活用能力の育成を意図的に行い、ICT機器を日常のツールとして使用させ、情報モラルを含めた情報活用能力の育成を行う。

### (3) 活発な自治活動を、委員会活動や学校行事を通して、次の学年に確実に引き継がせていく。また、JRC（日本赤十字）活動の活性化によりボランティア活動を積極的に推進し、公共心や奉仕の精神を育成する。

### (4) 本校独自の体験活動である「校内ハローワーク」や、「職場訪問」「勤労留学」等で外部人材と協働しながら社会人として求められるスキルの育成を行う。

### (5) 「弁論大会」をとおして、自らの関心や疑問から粘り強く情報を探し、学校や社会が置かれた現状や問題に対する解決策を考え、言語化し論拠を持ってアウトプットする活動から、未来社会で生きていくために自ら考え、行動できる資質・能力を育成する。

### (6) 様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることや、科学技術の発達や社会・経済の変化の中で、人間の幸福と社会の発展の調和的な実現を図るために、「特別の教科 道徳」の指導をとおして、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深めさせる。

### (7) 汐入こども園における保育実習、近隣の小学校との交流、JRC活動、クリーニングキャンペーン(地域美化活動)、サマーボランティア、汐入地区の地域行事、防災活動への参加など外部人材との交流活動をとおして、他者との共存や望ましい社会形成に資する態度を育成し、汐入地区を構成する一員としての自覚を高めさせる。

### (8) 特別支援学級との交流及び共同学習を推進し、障がいをもつ個性と捉えるとともに、多様な人々と望ましい人間関係を構築する力や、共に課題を解決していこうとする姿勢を身に付けさせ、共生社会の確立に向けた意欲を高めさせる。

### (9) 「一人一人の生徒を大事にする」を根底とし、学校生活における問題や困難に、教職員全体で取り組む。

### (10) 「小中一貫教育実践校」として、クリーニングプロジェクト、合唱交流、あいさつ推進日等を可能な限り行い、小学校との滑らかな接続を構築する。

### (11) 学習内容・学習習慣の定着のため「三中てらこや」を実施し、授業では国語・社会・数学・理科・英語の5教科の授業でeライブラリ活用する。日ごろの授業だけでなく臨時休業等になった際に、タブレットパソコンによるオンライン授業のほか、eライブラリの課題を提示などの学びの継続を図る。

### (12) 学校公開、校内の写真展示、学校ホームページの更新や学校からの各種たよりの発行により、生徒の活動を広く発信し、地域・保護者からの教育活動の「見える化」を図っていく。